

思いをつなぐ いのちをつなぐ

t s u n a g u

つなぐ



3.11 を忘れない
今、わたしたちにできること



Vol. 16

2017年4月16日発行

つなげよう脱原発の輪

上越の会 会報

発行責任者：植木史将



「3.11 福島を忘れない」のつどい

著作者: freedesignfile.co

福島原発事故から6年 まだまだ沢山の方の
「故郷に帰りたい」という願いが叶わずにいます。
しかし、テレビから福島のニュースが減りました。
もう収束したかのように・・・
「福島を忘れない」
『絆』という言葉で ずーっと寄り添うと 誓った日を



3月5日、竹内 英子さん（柏崎元保健師・2014年大熊町町民のケアに派遣されました）をお招きして「原子力災害からの避難 一何年も避難生活が続くこと」をテーマに講演していただきました

避難されている方の3つの葛藤

その1 日常⇔避難（仮の生活）

家族が別々に暮らし、知人・親戚と疎遠。同じ町・境遇の人でなければ、理解してもらえない。隣人には避難してきていることを隠している。周囲の人は、日常を暮らしている事に気付く疎外感。分断された気持ちや生活に慣れてしまう自分→人とのつながりが、緩やかに絶たれていく

その2 加害者（国・東電）⇔保護者（国・東電）

自分を守ってくれる人と、自分を傷つける人が同じ。事故を起こした東電。原発を国策としてきた国。その加害者が賠償してくれる、医療費を保証してくれる。東電や国に文句を言うと、保護が外されるかもしれないという気持ちから怒るべき相手に怒れない

その3 安心⇔安全

安全じゃない中で、安全だ、安心しろと言われる。でも住んでいる限りは、安全だと言ってほしい。でも言ってもらっても安心できない、その矛盾の中で皆さんがだんだん 心を固くしていく



6年経過した福島

2011年3月11日、事故を起こした東京電力福島第一原発が福島にもたらしたものは何なのでしょう。目に見えない放射能とともに、目に見えない分断と葛藤に苦しんでおられると聞きます。以下、ほんの目に見える部分のお話になりますが、何かを考えるきっかけとしていただければと思います。

◎小児甲状腺がん患者数・・・184人 (2017年2月20日 福島県民調査報告書より)

通常100万人に0～3人とされている小児甲状腺がんが、福島では100万人に換算すると300人～400人発症しています。100倍以上です。

また、原発事故による健康被害は甲状腺がんだけが注目されますが、放射性物質は体の外から全身を放射能で射貫く（外部被曝）とともに、呼吸や飲食により取り込まれ、全身にいきわたり全身の細胞を破壊（内部被曝）しますので、全身に障害をもたらします。

◎避難者数・・・77,283人 (2017年3月 福島県ホームページより)

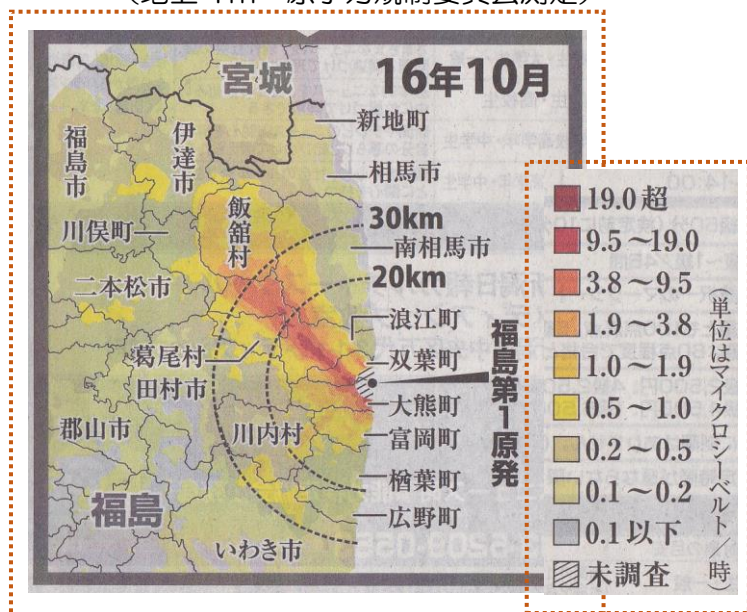
6年経っても自宅が戻る環境になっておらず、避難を続けなければいけない方たちの苦勞も計り知れませんが、避難したくても避難すらできずに放射能の恐怖に怯えながらそこで暮らす多くの方たちの苦勞も計り知れません。

◎帰還率・・・13% (2017年2月 住民基本台帳より)

避難指示が解除されて戻ってこられた方たちの比率です。政府と東京電力の除染に安心を得られずに自宅に戻らないことを選択した方たちが9割近くもいるということです。特に放射能の影響を受けやすい子供を持つ若い世代は帰還することを断念しています。

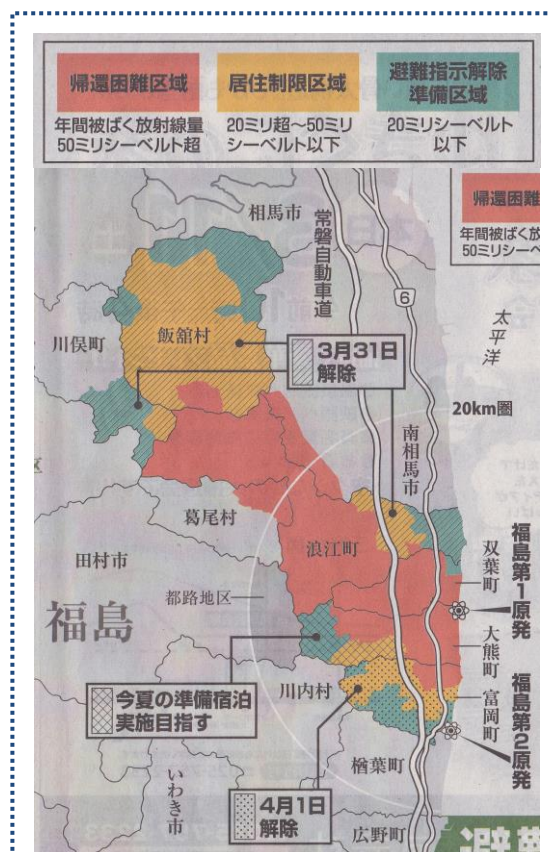
福島第一原発周辺の空間放射線量

(地上1m 原子力規制委員会測定)



(新潟日報 2017.3.11)

避難区域の現状



(新潟日報 2017.3.11)

福島からのメッセージ

震災から6年が過ぎても心も癒えず、先も見えない！

八島 孝文

(出身地：福島県南相馬市、現住所：新潟県上越市大潟区)

震災から今年の3月11日で6年がたちます。上の娘が小学校を卒業間近での震災、原発事故！その娘が3月で高校を卒業します。

幸い世間で騒がれてるような原発事故によるいじめは娘や息子には無かったが子供達は大人が思った以上に心が傷ついてた。中学校生活もなかなかクラスに馴染めなくて先生方とかなり話し合いました。何とか高校に入学して楽しく高校生活を送っていたかと思ったら二年生の二学期後半から学校には行けるが教室の有る階への階段を上れなくて高校を現在の通信制高校へと編入して卒業へ辿り着けました。

息子は誰とでも仲良く出来るタイプだったので順調に行くのかと思っていたが、親が娘に振り回されていて我慢していたのか、中学三年の初日に登校したのを最後に学校へ行けなくなった。聞けば学校へ行く度に自分を何回も殺し別人に成って通ってた。先生も含めて全員の行動がストレスに成っていて限界を超えたから学校へ行けないと答えた。普通なら高校へ進学の大事な時でもあり学校を休ませるのは悩みました。

でも、「あの先生方から学ぶくらいなら自力で勉強しただけでも高校は入れるから人生の回り道をさせて欲しい！」と、懇願され何度も話し合い高校卒だけでもと娘と同じく通信制高校に入学してくれました。なかなか大変な近況でした。

今でも妻との別居生活を選択したのが正しかったのか 間違いだったのか 自問自答する時があります。その都度、子供達や妻からは「後ろを向かずに貴方は前を向いて進んで！今までも分岐点の時に悩みぬいての結果なのだから！」と言われ前を向いて頑張っています。

故郷への思いは忘れてないが自分達で決めた帰る基準は変えずに今後もしばらくは上越市で生活続けるつもりで居ます！

でも、震災から6年がたつと避難先で生活しているためか故郷がダンダンと遠く思えてきましたけどね。故郷の復興も大事だけど当初から何度も話題にあがるけど避難者の心のケアと経済的支援！は大切ですのでもっと考えて欲しいものです。母子家庭、父子家庭が避難者にはまだまだ多いですからね！この先、避難生活続けるかは、各世帯で長さは違うから！

書籍紹介

「自分と子どもを放射能から守るには」



チェルノブイリ原発事故後、1990年に核エネルギー分野の科学者・故ワシヤーリ・ネステレンコさんが「放射能から人々を守る」事を目的にベラルド研究所を設立。調査・研究を元に出版した本です。福島事故後、辰巳さんに手渡され翻訳、出版されました（世界文化社）。

その中から一部をご紹介します。

♡♡ 食品放射能の減らし方 ♡♡

★放射性セシウムは「水に溶けやすい」

『野菜編』

- 1 水でよく洗う
- 2 皮をむく（結球野菜は外葉3～4枚捨てる。根・葉茎部分は1～1.5cm、大きめに切り落とす）
- 3 さらに洗う

★こうすることで放射性セシウムを5分の1から2分の1に減らせる



私の思い



私たちの責任

篠本三佳（上越市仲町）

震災で原発事故が起きてから、原発なんて絶対ありえない、水も土も食べ物も汚染され、日本はどうなってしまうだろうと思っていました。もちろん今もその気持ちは変わりません。

だけど「現実には福島に住んでいる人たちの気持ちに立てているだろうか」とも思うようになりました。そもそも原発を造るのを許してしまったのは私たちにも責任があるのです。だからこそ、どうしたら福島の人たちが安心して暮らしていけるのかをみんなで考えていくのもとても大事だと思います。

子どもたちに「生まれてこなければよかった」なんて思わせてはいけないのです。同じ過ちを繰り返さないために、自分の頭で考え行動する事が私たちの責任だと思います。

プロフィール 高田本町のパン店で働いています。最近自分が「実はお酒が好きだった」ことに気が付く。

◆ なくそテ原発 2017 新潟大集会 ◆

【日時】2017年10月8日(日)

【会場】新潟県民会館 大ホール (1700席)

【集会趣旨】

- ・ 柏崎刈羽原発の再稼働反対廃炉
- ・ 全国の原発の再稼働反対廃炉
- ・ 米山知事応援
- ・ 福島を忘れない

【集会内容】未定

◎柏崎刈羽原発の再稼働のハードルは、かなり高くなりました。米山知事は「原発の3つの検証が済むまでは再稼働の議論はできない」と言い、「検証に3、4年かける」と言っています。しかし、稼働していなくても柏崎刈羽原発には大量の使用済み核燃料が保管されています。今でもこの使用済み核燃料の冷却ができなくなればメルトダウンを起こします。テロ対策も全くできていません。廃炉にし、使用済み核燃料の保管を安全なものにしなければいけません。

また、柏崎刈羽原発が再稼働せず安全な状態に近づいたとしても、全国にはたくさんの原発があり、再稼働する原発、国の審査に合格した原発、地元同意が進んでいる原発もたくさんあります。この全国どこの原発が事故を起こしても、全国が放射能で汚染することになり、もちろん新潟県も汚染されます。柏崎刈羽原発だけでなく、全国の原発を安全な状態にしなければ全国の安全、新潟県の安全は確保できません。

♥つなげよう脱原発の輪 上越の会

代表：植木史将 (090-4962-9633)

フェイスブック、ホームページ、随時更新しています！

カンパ募集中です

当会は皆様からのカンパで運営されています。ご協力よろしくお願いします。

ゆうちょ銀行から…11260-13169471

名義：つなげよう脱原発の輪 上越の会

ゆうちょ銀行以外から…ゆうちょ銀行・伊弉册（一

八）・普通預金・1316947

名義：つなげよう脱原発の輪 上越の会

◆◆編集後記◆◆

▼代表に講演依頼が来た。私も抱持ちで参加。「脱原発活動、偉いね」と皆さん仰る。仕事をしながらなので大変ではあるけれど 誰にでもできる「原子力発電やめたいね」の一言が、もう立派な脱原発活動。難しいことはない。『クリーンだから 安いから 電気が足りなくなる』は、もう通用しないのだから (Y・Y)